



教育理念 (あいことば)

やさしさ 勇気 喜び そして 夢

# タカラッキー

学校HP用QRコード



宇都宮市駒生町 3364-29

Tel : 028-624-0317

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

(発行者 亀和田 淳一)

宝木小学校だより 令和5年度 第3号

令和5年 6月23日発行

## ～ 梅雨の合間に・・・楽しかった修学旅行，冒険活動教室，無事終了～

### 6年 修学旅行 会津・裏磐梯方面

梅雨の晴れ間の5日(月)～6日(火)，6年生が会津，裏磐梯方面に修学旅行に行ってきました。会津若松市では，鶴ヶ城や飯盛山を巡って歴史を体感し，裏磐梯では，磐梯山をはじめ五色沼や檜原湖の雄大な自然の素晴らしさを感じることができました。また，ホテルの食事や生活，郷土料理をいただいた2日間の昼食も満喫しました。

「修学」とは，まさに「学を修める」こと。6年間の小学校生活の集大成として，学んだことを生かして臨む校外活動です。子供たちは，出会った方やお世話になった方への感謝の気持ちを伝えたり，気持ち良く挨拶したりと素晴らしい態度でした。きっと，最高の思い出づくりになったことでしょう。



### 5年 冒険活動教室 宇都宮市冒険活動センター

同じ週の8日(木)～10日(土)，今度は5年生が2泊3日で冒険活動教室へ行ってきました。初日は雨の中テントに泊まり，2日目はロッジ泊でした。

創作活動や調理，グループ活動などの様々な活動を通じて，友達の新たな一面に触れ交友を深めるとともに，協力することの素晴らしさや主体的に行動することの大切さを学んだことと思います。とても実りある3日間でした。



## ～ 水泳学習はじまりました ～

今年度のプール開きは5日(月)でした。すでに梅雨入りしていますが、今年は比較的気温も高く、各学年ともプールに入ることができる日がそれなりに確保できそうです。小学校のプールに初めて入った1年生もとても嬉しそうでした。

保護者の皆様には、従来のプールカードではなく、さくら連絡網での可否連絡をお願いしているところであり、ご協力ありがとうございます。

プール学習は、夏休み前まで続きます。引き続きよろしく申し上げます。



## ～ 縦割り班活動 タカラッキータイムもスタート ～



これまでのコロナ禍ではなかなか充実した活動ができなかった縦割り班活動「タカラッキータイム」ですが、今年度第1回目の活動が14日(水)に行なわれました。

今回は初顔合わせでしたので、校舎内の各教室に班ごとに集まり、6年生を中心に1年間の活動計画を話し合いました。

学年内だけの関係を越えた異学年同士の交流を通して、思いやりの心や協力する態度、上級生を見習おうとする意欲を育てていきたいと考えています。まずは、何よりも6年生のリーダーシップがとても頼もしく見えました。年間計7回の活動を計画しており、これから楽しみです。

## ～ フラッグアートがオリオン通りに ～

昨年度、本校の魅力ある学校づくり地域協議会(魅力協)が主催して実施した「フラッグアート作り」で制作したフラッグ4枚が、6/30までオリオン通りに飾られています。昨年度のテーマは、今年8月に開通予定のLRTでした。子供たちと保護者の皆様で思い思いに色を付けた作品は一際目に付きまします。時間がありませんでしたらぜひご覧いただければと思います。

今年度は、7/22(土)に実施されます。奮ってご参加ください。



## ～ 6/21(水) 創立記念日 49歳 ～

49歳となった創立記念日の21日(水)、全校集会で「宝木小学校をもっと知ろう」の講話を行いました。校舎のいろいろな場所をクイズ形式にし、どれだけ自分の学校のことを知っているのか確かめました。

昨年度に続き同様の形は2回目になりますが、このような機会を作りながら、愛校心を高めていけたらと思います。来年度はいよいよ50周年です。



## 宝木っ子プロジェクト ～ めざせ あたりまえチャンピオン ～

前号でお知らせしました「宝木っ子プロジェクト」ですが、各学年・各学級でのめあての設定や振り返りなどを通して、以下に紹介するように少しずつ浸透してきている様子が見られます。

- 挨拶については、地域の方や来校された方からお褒めのお言葉をいただく機会が多くなりました。実際、子供たち自身から進んで気持ちの良い挨拶をしてくれる子が増えました。
- 自分たちの使う下駄箱をきれいに整頓している学級、靴を正しく置く子が増えました。
- チャイムと同時に校庭から校舎に向かって急いで戻っていく子供たちがたくさん見られます。
- 名札付け忘れゼロの学級がどんどん増えてきています。

宝木っ子プロジェクトは、全部で8項目あります。子供たちのさらなる意識の高まりを目指すには、ご家庭での足並みをそろえたご協力が不可欠です。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。